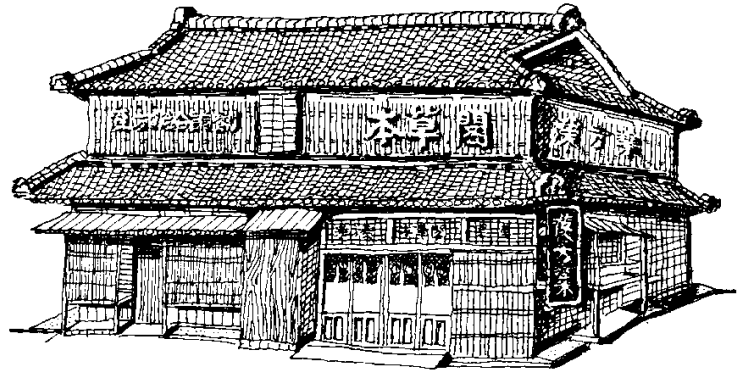


本草閣 かわら版

第74号

平成16年10月15日発行



漢方の本草閣 本店
〒460-0012
名古屋市中区千代田5-21-17
(JR 鶴舞駅西)
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
TEL 052-241-3388
FAX 052-241-3443

漢方の本草閣 緑店
〒458-0016
名古屋市緑区上旭1-622
(滝の水公園西)
名鉄バス滝の水口下車 徒歩約5分
TEL 052-899-0221
FAX 052-899-0236

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: kanpou@honsoukaku.co.jp

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: midori@honsoukaku.co.jp

民間薬よもやま話

第21回 サフラン：イチハツ科

婦人病の妙薬として知られており、古代エジプトやギリシャの時代から用いられてきました。南ヨーロッパ、アジア原産で、日本で栽培が行われたのは明治時代の頃からです。

サフランは、秋になると開花します。5月初めに畑から掘り上げた球茎を風通しのよい所で乾燥し保存します。サフランは高温の期間から冷気を感じる頃になると休眠が破れ、花のつぼみを出し始めます。その頃に畑地に直接移すか、木箱やカゴに球茎を入れて室内におけば50日くらいで開花します。

採取方法は、開花と同時にめしべの柱頭と花柱の濃紅色に着色した部分のみを抜き取って乾燥させます。そのまま日干しや陰干しにするとチリチリになってしまうので、ストーブなどで40~50℃くらいの温度で乾燥させるのがよく、3~4時間で乾燥を終わるようにします。水にぬれると色があせるので注意しましょう。

薬効は、婦人の血の道の薬として更年期障害、月経困難、無月経、月経過多などに常用します。気分のすぐれないとき、ヒステリー気味のとき、なかなか寝つかれないとき、頭痛、めまいなどに効き目を発揮します。1回量は0.2~0.3g(お

よそ8～10本)で、湯呑みやコップに入れて、熱湯を注ぎ、数分放置するとダイダイ色に染まります。これをお茶のようにして飲みます。お湯の代わりにホワイトリカーや白ワイン、ホットウイスキーを直接入れて飲んでもかまいませんが、1日の服用量 1.5～3 gを超えないようにしましょう。また、通経作用が強いので妊婦は使用してはいけません。

アトピー性湿疹 と間違えやすい

脂漏性湿疹（しろうせいしっしん）について

脂漏性湿疹は字の如く脂（あぶら）が漏（も）れる湿疹（しっしん）です。

部位：

頭皮・・・フケが多い・痒い・赤い・カサブタができる・毎日シャンプーしないとベタベタする・湿疹ができる

Tゾーン（眉毛・鼻）

〔眉毛・・・痒い・フケ様のものが出る・眉毛がうすい

鼻の回り（小鼻）・・・脂が出やすく何回も脂取り紙にて取る・鼻の回りや鼻の頭が赤い・湿疹ができる

腋下（わき）・・・濃い汗が出る・腋臭（わきが）がある・ベトベトする・湿疹ができる・痒い

背中の上部・・・ブツブツと湿疹ができる・背中が汚い・おでき様に盛り上がっている・ビキニの水着が着れない

臍（へそ）・・・痒い・臍のアカが多い

陰毛・・・痒い・赤い・湿疹、カサブタができる

この部分が主に湿疹ができて段々と全身に広がり、アトピー性湿疹とよく間違えられる。

漢方では解毒の弱さ（本人の持つ解毒作用の弱り）と食べ物の悪さのため、血液が汚れきれいにしきれない病です。

血液をきれいにし血液を皮膚表面までしっかりめぐらす漢方薬・食事・青汁・運動で根治させましょう！

詳しくは和薬・漢方の本草閣の薬剤師にご相談下さい。

〔文責 林 譽史朗〕